

月山(1984m) 平成21年5月3日(日)

メンバー: I.O, K.O (記) 天候: 曇り・ガス

コースタイム: スキー場リフト終点 8:05 ~ K・Aさんと出会う(9:25-9:40) ~ 月山神社頂上(10:30-10:45) ~ 姥ヶ岳頂上(12:30-12:45) ~ スキー場リフト乗り場 13:45 ~ 駐車場 14:05

概要: 前日の入山予定が、東北道の大渋滞のため、一日遅れとなった。Takさん、M 夫妻、T 夫妻は昨日に月山に登っているの、男3人は湯殿山へ向かうことになった。リフト終点で彼らと別れ、こちらは、月山に向けて出発した。姥ヶ岳の裾を巻く。尾根に上がってしまうと、アップダウンがあるので、できるだけ高度を落とさないように延々とトラバースして行く。やがて、トラバースを終え、雪の大斜面を直上していると、上部からボーダー1名が下ってきた。そして、その後には見慣れた K・A さんの姿がシルエットで確認できた。ガスが出ているので、姿ははっきりしないが、大声で名前を呼んでみると、応答があり、間違いのないことを確認。K・A さんら2人は昨日入山し、弥陀ヶ原方面に下ってテント泊、今朝、こちらに向けて登り返してきた。頂上はかなり風がきついとの情報ももらう。これから下山して、大朝日岳に登っている S クラブの2人を迎えに行くとのことであった。

いよいよガスがひどくなり、少し離れると相棒が見えなくなってしまう。頂上近くから雪が切れ、私はスキーを担いで登ることにした。相棒は別ルートからスノーシューのまま登った。頂上の月山神社付近は、再び積雪豊富となり、月山神社は雪の下に埋もれていた。ガスが濃いので、展望は望めず、昨日のよい天気を逃したことが悔やまれた。それでも昨日は、急遽予定変更で、安達太良山に登っているので、気持ちはそれなりに納得していた。

さて、スキーを固定し下降を開始。雪の残る東面に廻ってみたところ、しばらく雪が続き、よい調子であったが、途中から雪が切れ、ハイ松の上を歩かされた。その後、しばらくダウンヒルを楽しめたが、延々と続くトラバースに途中からうんざり。これでは面白くないので、姥ヶ岳に登って、ダウンヒルを楽しむことに計画を変更。おかげで姥ヶ岳にも登ることができ、結構長いダウンヒルを楽しむことができた。

なお、姥ヶ岳までは、T バールリフトが設置されており、多くのスキーヤーやボーダーが登って来ている。この時期まで滑りに来るスキーヤーは結構うまい。ようやく満足して、2時過ぎに駐車場に到着した。



ガスでした(月山頂上)

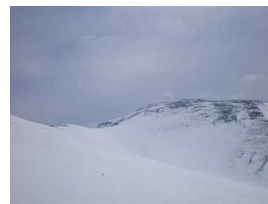
T 夫妻、M 夫妻と合流後、私のリクエストで帰りに湯田川温泉に寄ることにした。この温泉は藤沢周平とのつながりが深いので立ち寄り計画をしていた。共同浴場(正面の湯・料金 200 円)に入浴。そして、ここで夕食に、孟宗汁を食べたかったが、残念ながら、すでに朝取りのタケノコは終了していた。しかし、孟宗汁への思いは断ちがたく、鶴岡駅に車を走らせ、駅前の季節料理店にて孟宗汁を味わうことができた。なお、藤沢周平については、ブログに記事を書いているので読んで下さい。HP: <http://plaza.rakuten.co.jp/allmountain/>



リフト終点



シールを付けて準備中



延々とトラバース



ようやく頂上へ到着



姥ヶ岳からの滑降



姥ヶ岳頂上



もうそう汁定食



孟宗汁